

一般社団法人 岩の力学連合会
2025 年度 第 2 回理事会
議事録

日時	2025 年 7 月 11 日 14:00～16:45	場所	資源・素材学会 & Zoom
----	-----------------------------	----	----------------

理事会	理事長	児玉 淳一	○	理事 (常任)	三谷 泰浩	W	理事	杉田 裕	○
	副理事長	佐藤 晃	○	理事 (常務)	澤田 昌孝	○	理事 (常任)	中村 大	W
	幹事長	木崎 彰久	○	理事	木梨 秀雄	W	理事 (常任)	升元 一彦	○
	理事 (常任)	中村 和男	W	理事 (常務)	林 為人	W	理事	横尾 敦	×
	理事 (常務)	中島 伸一郎	W	理事 (常任)	陳 友晴	W	理事	佐原 圭介	W
	理事 (常務)	小川 浩司	○	理事 (常務)	木下 尚樹	×	理事	杣津 雄治	○
	監事	岸本 弘樹	W	監事	佐々木 憲司	W			

敬称略順不同, ○ : 出席, × : 欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 2025-理事-02-01	2025 年度第 1 回理事会議事録
資料 2025-理事-02-02	定時社員総会議事録
資料 2025-理事-02-03	臨時理事会議事録
資料 2025-理事-02-04	定時社員総会の指摘事項対応、課題
資料 2025-理事-02-05	個人、賛助会員数報告
資料 2025-理事-02-06	連合会委員会名簿 2025-2026 年
資料 2025-理事-02-07	岩の力学連合会定款
資料 2025-理事-02-08	岩の力学連合会規則
資料 2025-理事-02-09	理事会、常任理事会および三役会議運営規則
資料 2025-理事-02-10	活性化企画特別委員会報告
資料 2025-理事-02-11	将来構想 2016
資料 2025-理事-02-12	ロードマップ 2030
資料 2025-理事-02-13	若手海外助成報告 2025
資料 2025-理事-02-14	会員年齢構成の分析について
資料 2025-理事-02-15	総会における「役員選任」の決議方法について
資料 2025-理事-02-16	Agenda for ISRM Asian Council Meeting 2025 (Minutes)
資料 2025-理事-02-17	2025 年度岩盤工学基礎講座講師のお願い (案)
資料 2025-理事-02-18	JSMS 特集号ポスター

【審議・報告事項】※印は審議事項

1. 2025 年度第 1 回理事会議事録の確認（資料 2025-理事-02-01）※
議事録が承認された。
2. 2025 年度定時社員総会議事録の確認（資料 2025-理事-02-02）※
議事録が承認された。
誤植箇所（項目 9,10 中の 2023 年度は 2024 年度の誤植）については、事務局に相談し司法書士より
明らかな誤りの場合は、記載するだけで訂正印までは不要との確認が取れたため、差替えで対応す
る。
3. 2025 年度臨時理事会議事録の確認（資料 2025-理事-02-03）※
議事録が承認された。
誤植箇所（3. 常務理事の選定中の電子ジャーナル委員長はジャーナル編集委員長の誤植）について
は、審議事項 2 と同様に差替えで対応する。
4. 定時社員総会の指摘事項対応、課題について（資料 2025-理事-02-04）※
6 月に開催された定時社員総会の指摘事項対応、運営上の課題が報告された。指摘事項の内、将来構
想 2016 の更新方針については、活性化企画委員会が主導し、現状の総括を行うと共に原案を作成す
る。将来構想 2016 を踏まえた 2030 年までのロードマップ（ロードマップ 2030）を更新し、これを
HP に公開する方向で進めることとした。
総会で撮影した動画の公開については、発表者が動画確認できることとし、原案通り了承された。
5. 個人、賛助会員数報告（資料 2025-理事-02-05）
2025 年 7 月 4 日時点の会員の入退会状況、会費滞納者、住所不明者について確認された。
6. 連合会委員会名簿 2025-2026 年（資料 2025-理事-02-06）
「電子ジャーナル委員会」の名称は、「ジャーナル編集委員会」に修正する。賛助会員会議運営委
員会の幹事は現在空席であることを確認した。
7. 岩の力学連合会定款の確認（資料 2025-理事-02-07）
連合会定款を確認した。
8. 岩の力学連合会規則の確認（資料 2025-理事-02-08）
第 11 条（会費及び分担金）正会員年額 5,000 円に変更することが説明された。上記、連合会規則を
変更することについて承認された。規則の変更自体は次年度請求時期を事務局に確認し、請求の直
前に行うことが了承された。
9. 理事会、常任理事会および三役会議運営規則の確認（資料 2025-理事-02-09）
理事会規則等を確認した。
10. 将来構想の更新検討について（資料 2025-理事-02-10、資料 2025-理事-02-11）※
活性化企画特別委員会報告について報告が行われ、将来構想 2016 に関する取り組み、達成状況の整
理、課題の抽出および次の提言案策定に関する今後の進め方についての議論が説明された。
11. ロードマップ 2030 の確認（資料 2025-理事-02-12）※
現在の記載内容は 2023 年度までの内容であるため、常設委員長にメール送付して内容を確認頂き、
2024 年度までの総括に直していくことが了承された。
岩の力学統一シンポジウムの実施については、各学会の事情もあり現状難しいと考えられる。各学

会の岩盤関係イベントと無理のない範囲で連携しつつ、4年に一度統一シンポジウム（岩の力学国内シンポジウム）開催ではどうかとの案が出された。

各学会の状況について報告された。

- ・土木学会：岩盤力学に関するシンポジウムを毎年開催
 - ・地盤工学会：地盤工学研究発表会にて岩盤セッションを毎年開催
 - ・資源・素材学会：春秋大会において岩盤工学部門委員会企画セッションを開催
 - ・日本材料学会：年次大会において岩盤セッションを開催。特集号を発行。（資料 2025-理事-02-18）
- 岩盤基礎講座の有料化サービス案については、賛助会員は無料にしてほしいとの意見が出された。

12. 若手技術者海外助成 交付対象者決定の報告（資料 2025-理事-02-13）

報告内容が確認された。

13. 会員年齢構成の分析について（資料 2025-理事-02-14）

報告内容が確認され、若手や女性の人数が少ないことが指摘された。ARMS14 をきっかけに学生会員を増やす勧誘を行ってはその提案が出された。若手のメリットとして、国際会議に参加する時に会員価格になることや基礎講座に参加できることが挙げられた。年齢構成の分析については、5才刻みでの分析も行うことが了承された。積極的な勧誘活動を行うために、現会員の名簿（氏名、所属のみ）を会議において席上回覧することが提案された。

14. 総会における「役員選任」の決議方法について（資料 2025-理事-02-15）※

理事選出時の議決について、定款 27 条 3 により、一人ひとり議決を取る必要があるが、一括でも良いのではとの意見が 2025 年度総会において出された。役員選任を一人ひとり行うことは時間がかかることがデメリットであるが、司法書士からのコメントによると、内閣府の指導により行っており、他学会でも同様に一人ひとり議決を取っている例もあることから、事務局提案として決議方法は変更しない方針が説明された。

上記について、議論の結果、従来通り一人一人決議する方法が妥当であると結論付けた。

15. ISRM Asian Council Meeting 報告（資料 2025-理事-02-16）

報告内容が確認された。

次期 ISRM 総裁はブラジルのセルジオ氏。ARMS15 (2028)は中国（西安）に決まった。17th コンgress(2027)は韓国、18th コンgress(2031)は、ニュージーランド（クライストチャーチ）とインド（ゴア）がプレゼンしており ARMS14 の中で決定する。

16. ARMS14(FUKUOKA)での Franklin Lecture の選考方法について（資料 2025-理事-02-16）※

理事長、副理事長で候補者を決める事で了承された。

17. 2025 年度岩盤工学基礎講座について（資料 2025-理事-02-17）※

今年度は土木学会との共催で実施し、今年発刊予定の土木技術者のための岩盤力学〔応用編〕の著者の方に講師を依頼する方針について説明された。来年以降は見直しも含めて検討することとした。以上の実施方針について議論の結果、了承された。

18. その他

(1) 岩盤力学シンポジウムにおける特別セッションについて※

バイオロックの特別セッションとして松原先生に依頼する方針で了承された。

次回、対面での理事会は、9 月 24 日（水）14:00～資源・素材学会会議室での開催を予定しています。

以上